

東日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 深澤 祐二殿

J R 東日本輸送サービス労働組合

中央執行委員長 佐々木 宏充

## ワンマン運転の拡大に関する申し入れ

J R 東日本のワンマン運転においては、グループ経営ビジョン「変革 2027」を踏まえ、安全の確保をベースとして業務を高度化し、人口減少社会の到来や技術の進展等の社会環境の急速な変化に対応しながら、利用者が求める輸送サービスを提供していくために技術革新によって確立した技術等を導入してきました。

そして、現在では、水戸線、八高線・川越線、相模線、日光線、東北本線等の路線において中編成ワンマン運転が開始されています。さらに今後は、長編成ワンマン運転として7両編成以上の列車での実施が計画されており、常磐緩行線を皮切りに南武線、横浜線への導入が計画されています。中編成ワンマン運転が実施されて以降、車両におけるワンマン運転設備の不具合やダイヤ設定による利便性の低下、車内秩序の維持ができない等、安全や輸送サービスに関わる問題が多く発生しています。また、導入線区における線区の特情が考慮されずに一方的に進められているのが現状です。

今後のワンマン運転の拡大および長編成ワンマン運転の実施については、現在の短・中編成ワンマン運転における課題を明確にし、その解決を図ることなしに安全で品質の高い輸送サービスを提供することは出来ないと考えます。

したがって、下記のとおり申し入れを行いますので、労使間の取扱いに関する協約に準じ、団体交渉は信義誠実対等の原則に従い秩序を保ち平和裡に行うことに踏まえて丁寧かつ具体的に回答をすること及び速やかな労使交渉の開催を強く要請します。

### 記

1. ワンマン運転の拡大を行う目的および現状と進捗状況、今後の計画について具体的に明らかにすること。
2. ワンマン運転の実施にあたっては、輸送品質・安全品質・サービス品質および線区の特情を考慮した列車運行計画と車両・ホーム設備を構築したうえで実施すること。

以 上